

TOSHISANGYO Co.Ltd.
**COMPANY
PROFILE**



FGHD
富士商グループホールディングス



都市産業株式会社

ONLY ONE

お客様満足、パートナー満足、地域社会との調和を満たす領域にしか

富士商グループホールディングスの存在価値はありません。

富士商グループホールディングスを取り巻く様々な環境変化に、速やかに対応し

オリジナリティ(独創性)、パーソナリティ(人間性)、スペシャリティ(専門性)あふれる

付加価値(満足)を創造し続けることでその存在価値領域を広げていきます。



MESSAGE ご挨拶

弊社は昭和46年の創業以来、産業廃棄物の中間処理を適正に行い、環境保全と資源循環を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。

基本理念「環境・資源・創造」のもと、長年にわたり築いてきたリサイクルネットワークを活かし、処理の最適化と資源の有効活用を追求していきます。再生提案にも積極的に取り組み、サーキュラーエコノミーの推進を通じて、環境達成プロデュース企業としての責務を果たしていく所存です。

今後も社会の期待に応え、より良い未来づくりに向けて全力を尽くしてまいります。皆様の温かいご支援を、今後とも心よりお願い申し上げます。



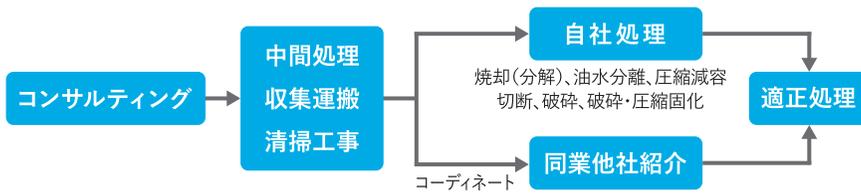
代表取締役社長
中村 光

COMPANY PROFILE 会社概要

商号	都市産業株式会社
所在地	山口県宇部市大字船木61番41
設立	昭和46年11月25日
資本金	1,500万円
代表取締役社長	中村 光
取締役工場長	藤田 勲
事業内容	1.中間処理 ・産業廃棄物 ・特別管理産業廃棄物 ・一般廃棄物 2.収集運搬 ・産業廃棄物 ・特別管理産業廃棄物 3.コンサルティング(廃棄物処理関連)
所有面積	218,408㎡
事業面積	73,301㎡
保有施設	タンク：1,420㎡ ピット等：784㎡ 倉庫等：1,841㎡ 屋外ヤード：5,801㎡ 貯留場：373㎡

廃棄物の適正処理の概要

環境達成プロデュース企業として適正処理並びにリサイクルについてプランニングを行います。



廃棄物の処理フロー

受入 (産業廃棄物、特別管理産業廃棄物)	中間処理	最終処分	再資源化
<p>〈産業廃棄物〉 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、ゴムくず 金属くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、紙くず、木くず 繊維くず、動物性残さ、動物のふん尿</p> <p>〈特別管理産業廃棄物〉 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性廃棄物</p> <p>〈特別管理産業廃棄物〉 汚泥、廃アルカリ</p>	<p>① 焼却施設 焼却分解</p>	<p>燃え殻</p> <p>ばいじん</p> <p>委託管理型最終処分場</p>	<p>再生土化</p> <p>セメント原料化</p> <p>亜鉛回収</p>
<p>〈産業廃棄物〉 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 〈特別管理産業廃棄物〉 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ</p>	<p>② 油水分離施設</p>	<p>水</p> <p>油</p> <p>沈殿物</p>	
<p>〈産業廃棄物〉 廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、木くず、繊維くず</p>	<p>③ 圧縮減容施設</p>		<p>セメント燃・原料化</p>
<p>〈産業廃棄物〉 廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、木くず</p>	<p>④ 切断施設</p>	<p>委託安定型最終処分場</p>	
<p>〈産業廃棄物〉 廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、木くず、繊維くず</p>	<p>⑤ 破砕施設</p>		<p>バイオマスボイラー燃料化</p>
<p>〈産業廃棄物〉 廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、繊維くず、金属くず、ばいじん 燃え殻、汚泥、鋳さい、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず</p>	<p>⑥ 破砕・圧縮固化施設</p>		<p>製鋼副資材化</p>
<p>〈産業廃棄物〉 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず</p>		<p>自社管理型最終処分場 (休止中)</p>	

破碎・圧縮固化施設

リサイクルが困難であった高塩素品や難処理品の廃プラスチック類に、鉄粉や炭等の鉱さいや汚泥等を添加し、圧縮成形。出来上がった製品は製鋼副資材としてケミカルリサイクルを行っています。



製鋼副資材の製造フロー

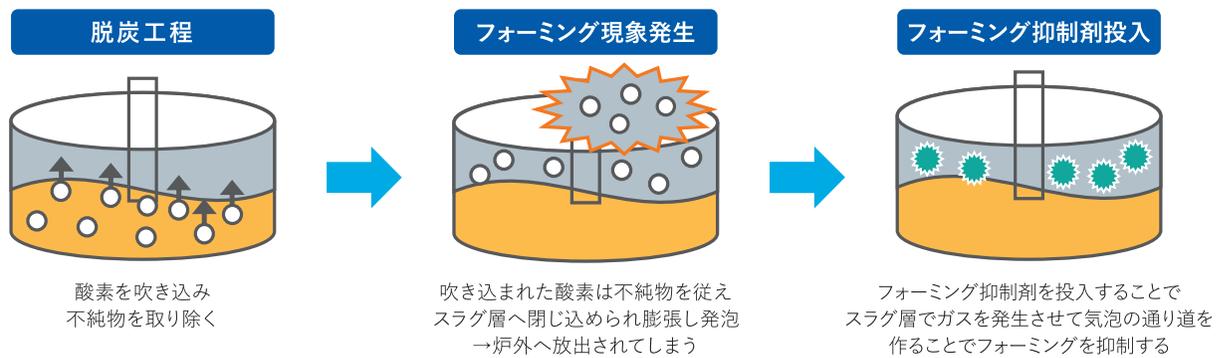


製鋼副資材の使用例①

高炉メーカー様でフォーミング抑制材として利用

フォーミング現象とは

脱炭工程において生成されたCOガス気泡が、上部スラグを膨れ上がらせ発泡させてしまう現象をフォーミング現象といいます。このフォーミング現象を放置すると溶鋼が炉外に放出(スロッピング)してしまいます。フォーミング抑制剤を投入することで放出を防ぎ、鎮静化させる事でいくつかの効果を得ることができます。



製鋼副資材の使用例②

電炉メーカー様でコークス代替品として利用

高強度の鉄を製造するためには

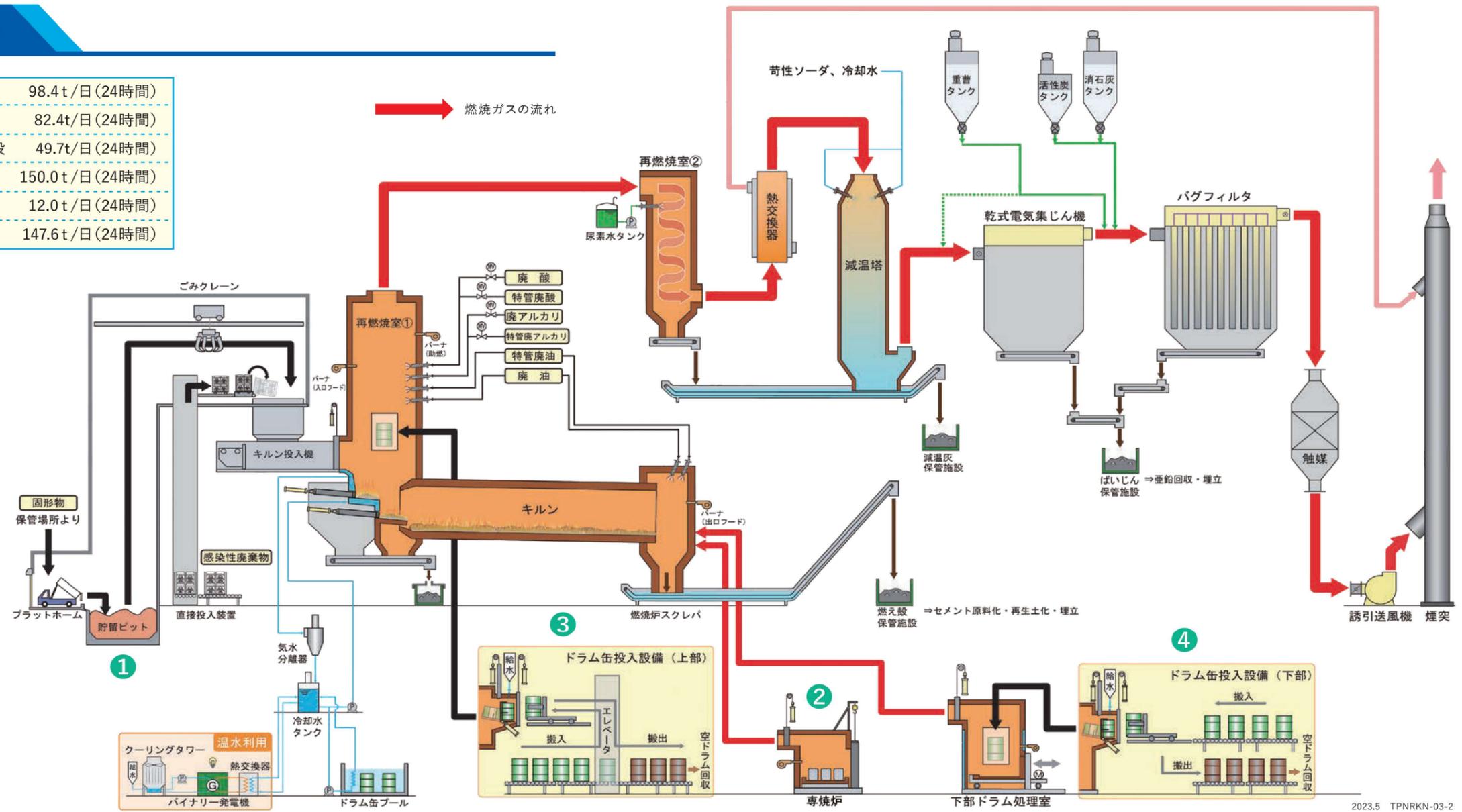
電気炉で鉄を溶かした際に、鉄に一定量の炭素を含有させます。炭素含有量を増やすために使用されるのが、固定炭素が高いコークス類です。コークス類(加炭材)は鉄製造には欠かせない資材の一つになります。製品を炉に投入する事で、精錬工程での石炭(コークス)の使用量をゼロにします。

製品と鉄を炉に投入し、使用している様子



焼却施設(分解施設)

汚泥の焼却施設	98.4t/日(24時間)
廃油の焼却施設	82.4t/日(24時間)
廃プラスチック類の焼却施設	49.7t/日(24時間)
産業廃棄物の焼却施設	150.0t/日(24時間)
シアン化合物の分解施設	12.0t/日(24時間)
混焼能力	147.6t/日(24時間)



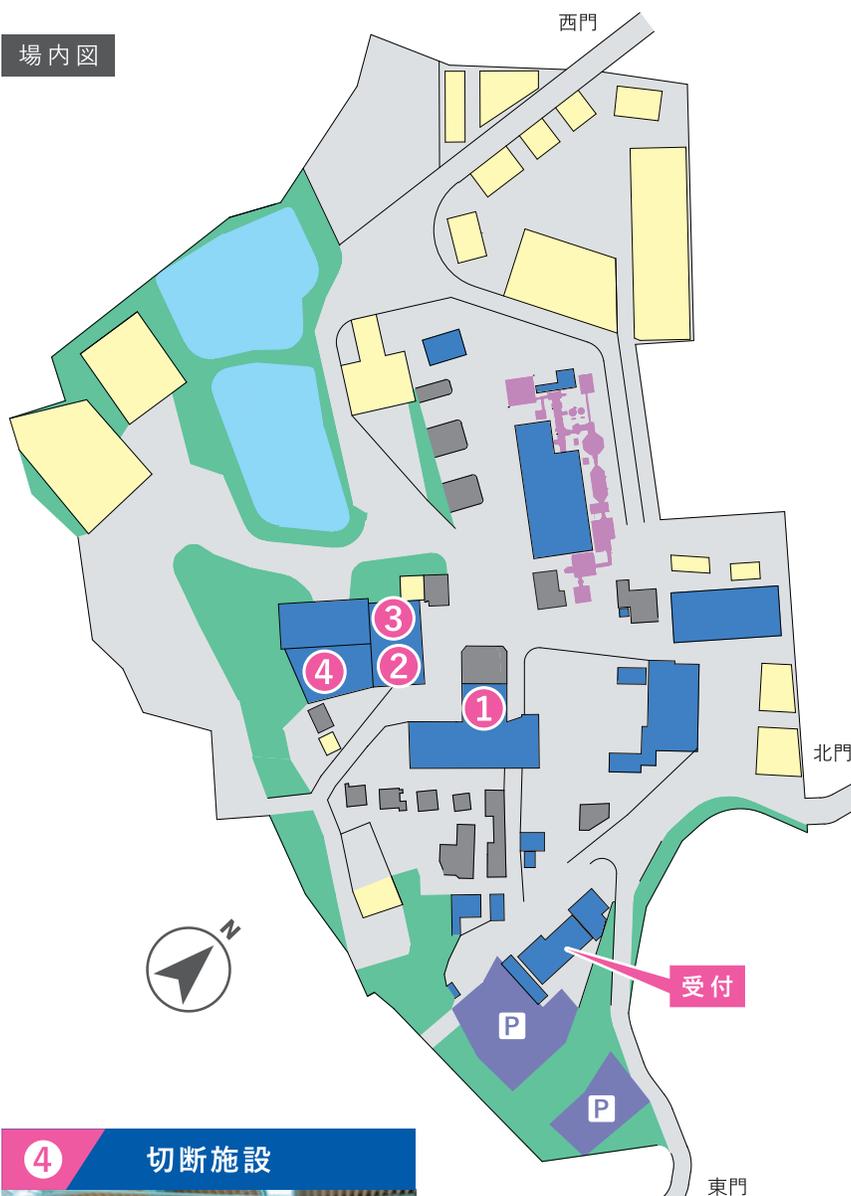
そのほかの処理施設

- ・産業廃棄物の処理に関して、長年の経験と豊富な知識を有しており、あらゆるケースに対応できます。
- ・ここに示す油水分離、破碎、圧縮減容、切断の中間処理施設を有しており、中間処理後のリサイクルにも対応しています。

処理能力

油水分離施設	31 t/日(24時間)
圧縮減容施設	12t/日(10時間)
破碎施設	15t/日(10時間)
切断施設	3 t/日(10時間)

場内図



① 油水分離施設



油分を含んだ廃水を分離層内で水層と油層に分離し、水層は焼却炉で焼却処分し、油層は燃料(熱源)として可能な限りリサイクルします。

② 圧縮減容施設



廃プラスチック類などを選別、圧縮梱包し、有価売却又はセメント燃料としてリサイクルします。

③ 破碎施設



一軸破碎機による破碎物は、有価売却又はセメント燃料としてリサイクルします。

④ 切断施設



廃プラスチック類などを切断し、セメント燃料として、リサイクルします。

許可一覧

産業廃棄物処分業許可証 (許可番号:第03546003258号)

事業の区分	産業廃棄物の種類
中間処理 焼却 (分解を含む)	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残渣、ゴムくず、鉱さい、がれき類、動物のふん尿、ばいじん 以上17種類
油水分離	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上4種類
破砕	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 以上5種類
圧縮減容	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 以上5種類
破砕・圧縮固化	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、紙くず、繊維くず、ゴムくず、鉱さい、ばいじん 以上10種類
最終処分 埋立	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 以上1種類

特別管理産業廃棄物処分業許可証 (許可番号:第03576003258号)

事業の区分	産業廃棄物の種類
中間処理 焼却	汚泥(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等を含むもの) 廃油(揮発油類、灯油等を含むもの) 廃酸(PH2以下のもの、ジクロロメタン等を含むもの) 廃アルカリ(PH12.5以上のもの、ジクロロメタン等を含むもの) 感染性産業廃棄物 以上5種類
油水分離	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上4種類
分解	汚泥、廃アルカリ(シアン化合物を含むもの)

産業廃棄物収集運搬業許可証 (許可番号:第03506003258号)

事業の区分	産業廃棄物の種類
収集運搬業	汚泥、廃油、廃プラスチック類等11種類

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 (許可番号:第03566003258号)

事業の区分	産業廃棄物の種類
収集運搬業	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上4種類
積替・保管	汚泥、廃酸、廃アルカリ(有害物を含むもの)

一般廃棄物処理業許可証 宇部市(許可番号:第319号)

事業の区分	一般廃棄物の種類
一般廃棄物の処分 焼却・破砕・圧縮減容	事業系一般廃棄物及び処理困難物



〒757-0216 山口県宇部市大字船木61番41
TEL.0836-83-2830 FAX.0836-83-1176
HP toshisangyo.co.jp

廃棄物のお問合せはこちらから

